

企業の木づかい②

サントリー株式会社

「水と生きる」をテーマに
森林を守り、木材を使い
ながら育てていく

「水と生きる」をコーポレートメッ
セージとして掲げているサントリー株
式会社は、事業の基盤である水を大切

に使い、かけがえのない地下水（天然
水）を守るための取り組みを行い続け
ています。水源である森をしっかりと
育てていく活動、自然環境と共生して
いくことは企業の重要なテーマです。

サントリー株式会社では二〇〇三年
から工場の水源にあたる場所を中心に

国（林野庁「法人の森林」制度）や自
治体と協働して「天然水の森」と名
づけた水源かん養活動を全国で展開。
二〇〇三年の「天然水の森 阿蘇」に
始まり、二〇〇八年五月には、「天然
水の森 奥大山ブナの森工場」が竣工
し、森林保全活動は全国八府県九か所
の森にまで拡大しています。

間伐、枝打ちなどの活動には林業の
プロの方々と協力する形で社員も参加

していますが、これは「水と生きる」
を実際に森林に入ることによって体験
するため。特に「天然水の森 奥大山」
には間伐材を利用したベンチが置かれ
た広場（ミズナラ広場）があり、作業
道には木材チップが敷きつめられてい
ます。さりげない「木づかい」が木の
香りとともに訪れる人の心を癒してい
ます。

子どもたちに自然と触れ合っても
らい、森と水の関係や環境の大切さ
を伝えていく「森と水の学校」も阿蘇
の森を中心に定期的に行われ、今まで
に約七〇〇〇名の親子が参加していま
す。「林業体験コース」「巣箱かけコー
ス」「森の仕事コース」などに分かれ
た学校では実際に間伐材をのこぎりで
切って、コースターにする企画や木材
を使ったマイ箸づくりの企画も。木材
を利用する意義や、健康な森をつくる
ために必要なことを楽しみながら学習
できます。

雨や雪を受け止め、地下深くに水を
蓄える森。サントリー「天然水の森」
はかけがえのない自然の恵み、サステ
ナビリティを守つ
ていくため、そし
て、林業の活性化
をはかるために水
源である森の面積
をもっと増やして
いきたいと考えて
います。



天然水の森 奥大山 ブナの森工場



上右／枝打ちなどを体験



上左／間伐材を利用したベンチ



下右／木材チップを敷きつめた
作業道

下左／「森と水の学校」の参加
者



昨年行われたシンポジウムやフォーラムの様子



今後行われる「木づかい運動」のイベント情報

● 12月11日～13日

イベント名：エコプロダクツ 2008 出展

場所：東京ビッグサイト

内容：国内最大級の環境総合展示会。

● 9月29日～10月3日

イベント名：木づかい推進月間 第1弾 木づかい生活でエコしよう

場所：農林水産省内「消費者の部屋」（東京）

内容：まな板、割り箸、すのこなど、家庭で利用できる国産材製品を紹介。

● 10月5日

イベント名：木づかいシンポジウム 2008 in 新潟

場所：新潟・朱鷺メッセ マリンホール

内容：パネリストに著名人や有識者を招いてシンポジウムを開催。

● 10月11日

イベント名：木づかいフォーラム 2008

場所：大阪なんばパークス キャニオンコート

内容：安藤直人氏（東京大学大学院教授）、須藤元気氏などを迎えてトークセッションを開催。

● 10月18日

イベント名：木づかいフォーラム 2008

場所：東京ミッドタウン アトリウム（B1）

内容：安藤直人氏、須藤元気氏などを迎えてのトークセッションを開催。

● 10月27日～10月31日

イベント名：木づかい推進月間 第2弾 オフィスでエコしよう

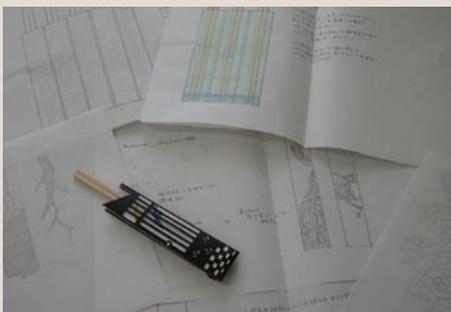
場所：農林水産省内「消費者の部屋」（東京）

内容：企業の具体的な木づかいの事例を紹介。また、オフィスで利用できる国産材製品も紹介。

トピックス

学生が箸袋をデザイン！

現在、東京芸術大学美術学部デザイン科で学んでいる学生が「使いたくなる箸袋」をテーマに国産材割り箸の袋をデザイン。アイデアに満ちた箸袋は、9月29日～10月3日、10月27日～10月31日まで農林水産省内「消費者の部屋」（東京）で展示。また、10月6日～17日まで農林水産省7階の中央展示で展示されます。



制作過程のラフ案。完成品は会場でご確認ください

昨年引き続き、今年も9月下旬から東京、新潟、大阪で「木づかいシンポジウム」や「木づかいフォーラム」などが開催されます。